

ひ聞せ、廻文を相渡す。略中殿下御下向の後、速かに馳參る者多かりけるは、皆是孝高の智術より出たる處なり。

〔續武將感狀記〕秀吉公臣○豐九州ヲ平均シ給ヒテ、筑州博多ノ野割ヲ、孝高田○黑ニ命ゼラル、孝高四

兵衛野久ヲシテ、其ノ事ヲ掌ラシム、是ヨリ前博多ノ町ハ、兵火ニ燒クテ、其跡草深ク修理モ定難

シ、四兵衛思惟シテ、古井アルトコロヲ尋テ、其井ヲ以テ、屋鋪ノアルトコロヲ定メ、經營不日ニシ

テ、成就シテケリ、肥前名古屋ニテ、諸軍勢ノ小屋割ヲ秀吉公近臣ニ命ゼラル、其功速ニ不成ケレ

バ、孝高ニ仰付ラレ、孝高事ヲ四兵衛ニハカラレケルニ、四兵衛平生鳥目一貫文下人ニ持セケル

ガ取出シ、太閤ノ御前ニテ、錢ヲ以テ、即時ニ指圖ヲナス、孝高處々ヲ改テ、御目ニ掛ラレケレバ、御

心ニ應ジ、早速ニ出來ヌト歎美シ給フ、

〔武將感狀記〕一相模ノ小田原ノ役ニ、堀左衛門督秀政、先人ヲ遣テ、伊豆相模駿河、遠江ニテ、牛數

十頭買置タリ、秀吉箱根ノ嶮路ニカ、ルトキ、秀政牛ヲ以テ糧ヲ運ブ、他ノ軍ハ是ニ迷惑スレド

モ、秀政獨リ豫メ備ヘタルガユヘニ患ナシ、アル夜、風雨ハナハダシク、天地暗シ、秀政ノ曰、今夜必

ズ盜アラン、我士卒ノ馬鞍兵糧等、盜人ニ取ラレンヨリ、其怠リヲ窺ヒテ、我ミツカラ取ルベシト、

士卒此言ヲ聞テ、寢者ナシ、其夜三度陣中ヲ巡邏ス、他ノ陣ハ多ク盜ミニアヘドモ、秀政ノ陣ハ盜

入コトヲ得ズ、

〔武功雜記〕四小田原陣ノ時、牧野右馬允家來稻垣平右衛門、古船ヲアツメヨセ、釘ヲ拔、カスガイヲ

放テ、ソレトニ分テ置、一所ニトリテオク、人コレヲ見テ、キタナクシワキ事カナト云、笹曲輪ヲ

ノリシ時、右ノ船板ヲ橋ニワタシテ、釘鉸ヲウチツケシユヘ、自由ニワタリ、ノリシ人皆其功者ヲ

感ズ、

〔明良洪範〕十三、利勝○土ハ智謀衆ニ勝レシ人也、先年關白秀次、太閤○豐臣ノ御不審ヲ蒙リ、大變